Ⅶ　エコーガイド下CVC挿入推進チーム

エコーガイド下CVC挿入推進チームは、安全なCVCカテーテル挿入を目的に平成22年から活動を開始している。30年度は医師12名と医療人育成センター1名、医療安全管理部3名で講習会開催などの活動を行った。

30年度は、約2時間の手技講習会（講義・ハンズオン・手技チェック）を4回実施し、受講医師は35名であった。講習会後「エコーガイド下中心静脈穿刺認定医カード」を9名に発行した。
卒後臨床研修センターの1年目研修医にも、同様の手技講習会を実施しており、56名が受講した。

モニタリングとして、中心静脈カテーテル挿入時の合併症調査を実施し、延挿入数1,860症例があり、合併症は17症例（発生率0.9%）であった。更に認定医不在の場合にはチームメンバーが支援する体制を確立しており、29件の挿入、もしくは立ち合い依頼があった。依頼診療科は泌尿器科、整形外科、乳腺・内分泌外科などの計14科であった。

合併症発生時には医療安全管理部とエコーガイド下CVC挿入推進チームでミーティングを実施し、対応を協議した。

導入後2年目となるPICC（末梢挿入型中心静脈カテーテル）は、PICCカテーテルの普及推進に向け講習会を開催し、「PICC認定医カード」を2名に発行した。

Ⅶ-1　30年度穿刺部位別合併症

（件）

区分	気胸	動脈穿刺	血腫	動脈穿刺血腫	動脈内カテーテル留置	カテーテル迷入	カテーテル先端位置不適切	その他	合計
内頸静脈		1	1				2		4
鎖骨下静脈	2						3		5
大腿静脈			1						1
その他		1	1	1			4		7
合計	2	2	3	1	0	0	9	0	17

Ⅶ-2　30年度診療科別穿刺件数と合併症

区分	件数	合併症（件）	発生率（%）	区分	件数	合併症（件）	発生率（%）
循環器内科	102	2	0.02	乳腺・内分泌外科	1		
冠疾患内科	26			心臓血管外科	18	1	0.06
血液内科	106	1	0.01	呼吸器外科	4		
リウマチ・膠原病内科	17			整形外科	6		
糖尿病・内分泌・代謝内科	1			形成外科			
肝・胆・膵内科	23	1	0.04	脳神経外科	31		
消化管内科	69	1	0.01	皮膚科	1		
炎症性腸疾患内科	187	2	0.01	泌尿器科	6		
呼吸器内科	9			産科婦人科	2		
脳神経内科	12			耳鼻咽喉科・頭頸部外科			
腎・透析内科	35			放射線科	8		
小児科	1			麻酔科・疼痛制御科	503	2	0.004
NICU				歯科口腔外科	1		
肝・胆・膵外科	6			ペインクリニック部			
小児外科	1			救命救急センター	370	4	0.01
上部消化管外科	7			精神科神経科			
下部消化管外科	25			ICU	178	3	0.02
炎症性腸疾患外科	104			合計	1,860	17	0.9